PAT-NO: JP358092738A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 58092738 A

TITLE: POSITIVE AND NEGATIVE PRESSURE SWITCHING VENTILATING

EQUI PMENT

PUBN-DATE: June 2, 1983

INVENTOR-INFORMATION: NAME ITO, HIROSHI KURITA, MORITOSHI KANDA, MASAO

SHIOIRI, ISAO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME COUNTRY

HITACHI PLANT ENG & CONSTR CO LTD N/A

APPL-NO: JP56187827

APPL-DATE: November 25, 1981

INT-CL (IPC): F24F007/06

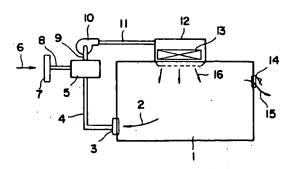
US-CL-CURRENT: 454/238

ABSTRACT:

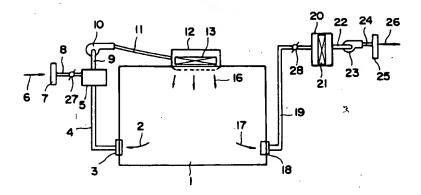
PURPOSE: To perform the ventilation by a single ventilating device for clean room by a method wherein a minor differential pressure adjustor for adjusting minor differential pressure between the outdoor and indoor is attached, which operates an exhaust air amount adjusting valve and fan so that the positive pressure and negative pressure within the room can be changed over.

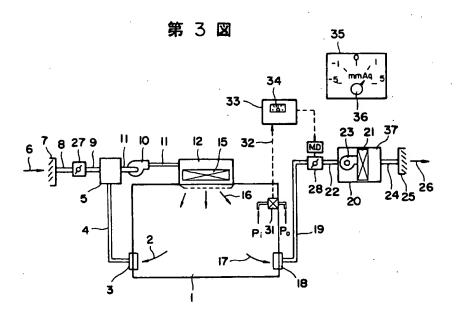
CONSTITUTION: The minor differential pressure adjusting device 31 detects a differential pressure between the indoor pressure P<SB>1</SB> and the outdoor pressure PO and converts the detected value into an electronic signal, which is inputted into a controller 33. An indoor pressure adjustor 34 in the controller 33 compares the detected differential pressure to an indication point of the indoor pressure, and changes the opening degree of an automatic air amount adjustor valve 28 based on the comparison so that the amount of exhaust air 26 can be changed accordingly. By this, the air amount relationship between the air 2 introduced into the clean room 1 through another air amount adjustor valve 27 and the exhaust air 26 is changed so as to change over the positive or negative pressure within the room 1 selectively. Thus, the ventilation of the room 1 can be carried by a single ventilating device.

COPYRIGHT: (C) 1983, JPO&Japio



第2図





(9) 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

⑫公開特許公報(A)

昭58—92738

60Int. Cl.3 F 24 F 7/06

識別記号

庁内整理番号 6438-3L

43公開 昭和58年(1983)6月2日

1 発明の数 審査請求 未請求

(全4頁)

國陽陰圧切替式換気設備

20特

昭56—187827

22出

昭56(1981)11月25日

70発 明 者 伊藤浩

> 東京都千代田区内神田1丁目1 番14号日立プラント建設株式会 社内

⑫発 明 者 栗田守敏

東京都千代田区内神田1丁目1 番14号日立プラント建設株式会 社内

⑫発 明 者 神田正夫

東京都千代田区内神田1丁目1 番14号日立プラント建設株式会 社内

勿発 明 者 塩入功

> 東京都千代田区内神田1丁目1 番14号日立プラント建設株式会

社内

加出 願 人・日立プランル 建設株式会社

> 東京都千代田区内神田1丁目1 番14号

1. 発明の名称

陽陰圧切替式換気股備

2. 特許請求の範囲

0.1~0.5 µm の微少左物体を除去する沪過器 を通して空気を循環させ、腐埃及び微生物を制御 するクリーンルーム、パイオクリーンルーム及び パイオハサードと呼ばれる空気清浄室(以下クリ ンルームと呼ぶ)の換気設備において、室内外 D微差圧調整器を付設し、この微差圧調整器によ つて排気風量調整弁と送風機とを操作して室内圧 力を陽圧または陰圧に切替可能としたことを特徴 とするクリーンルーム用換気設備。

3. 発明の詳細な説明

この発明は空気中の浮遊じんが極めて少ないク リーンルームに用いる換気設備の構造と制御方法

換気設備とはクリーンルーム内で消費される酸

素を補給したり、クリーンルーム内で発生した二 酸化炭素及びその他の有害物質を除去するために 外気の新鮮な空気を室内に取り入れ、その取り入 れた外気分の汚染空気を室外に放出する般備をい

クリーンルームは精密、酸細な電子部品の製造、 無菌状態での手術、無菌病室、無菌動植物の生産、 薬品の製造及び隔離病室に欠くことのできない室 であり、室内の清浄度を保持するため室外に対し て室内圧力を 0.3~20 mm Ag 程度陽圧にして、 2外の非清浄空気がクリーンルーム内部に侵入す るのを防止したり、またはクリーンルーム内で極 めて危険な微生物とか楽品を取り扱う場合、それ らが室外に漏洩するのを防止するために室内を喰 圧にすることが要求されている。

とのような陽圧及び陰圧を得るために従来はそ れぞれ個別のクリーンルームに陽圧又は陰圧の換 気設備を必要とした。

第1図は晦圧の換気設備の系統図を示したもの であるクリーンルーム 1 内の覆り空気 2 は吸込口

第2図は陰圧の換気設備の系統図を示したものである。クリーンルーム1内の適り空気2は吸込口3に吸い込まれ、環気風導4を通つでサクションチャンパ5に導びかれる。一方新鮮空気6は、新鮮空気取入口7に吸い込まれ8の風導を通つて

サクションチャンパ5に導びかれる。滑り空気2 と新鮮空気6はサクションチャンパで一定の比率 に混合され、風導9を通つて送風機10で加圧さ れ、風導11より吹出チャンパ12に入り、戸過 器13を通過して消浄空気14となりクリーンル - 4 1 に送り込まれる。一方所染空気17は吸込 口18と風導19を通り、炉過器21を内蔵した チャンパ20を通過し、汚染物質を除去した後、 風導22を通り送風機23と風導24、排気口 25を通り、クリーンルーム外部に排気空気26 として排気される。この時、新鲜空気6の空気量 より排気空気26の空気量を多くするとクリーン ルーム1内は陰圧となる。新鮮空気6と排気空気 26の空気量は新鮮空気取入量調整用の風量調整 弁27と排気量調整用の風量調整弁27を制御す ることにより行なわれる。

との発明の目的は、前配したように、従来のクリーンルームにおける陽圧及び陰圧の換気設備が、 それぞれ独立したものである不便を解消し、一つ のクリーンルームに陽圧及び陰圧の両設備を備え

て、適用に応じて使いわけるととができる陽陰圧 切替式換気設備を提供することにある。

この発明は、従来クリーンルームの場圧及び陰 圧を得るために、それぞれ別個の陽圧及び陰圧の 換気設備を設備していたものを、両者を統合して、 一つのクリーンルームに得圧、陰圧の換気設備を 備えたものである。

この発明の実施例を図面を参照して説明する。 第3図は、この発明に係る一つのクリーンルーム(無菌病室)に陽陰圧切替式換気散備を示した 図である。

リーンルーム 1 内ので気 2 は吸込口 3 に吸い込まれ、風導 4 を通ってサクションテヤいがまれ、風導 8 を通り、風震 2 で吸を充って吸をないまれ、風導 8 を通り、風震を介 2 で必要を通り、風導 9 を通り、風導 9 を通りが得られる。で見るとはサクションチャンバ 5 に入る。で混合され、解してからとはサクションチャンバ 5 で混合され、吸導 1 1 を通り、吹出チャンバ 2 に入り、沪過器 1 3 を通

つて、清浄空気1.6としてクリーンルーム内に吹 き出される。また所染空気17は吸込口18で吸 い込まれ風導19を通り、電動式風量調整弁28 と風導22を通り、空気炉過装置29で汚染物質 を除去した後、風溝24と排気口25より、クリ -- ンルーム外に排気空気26として排気される。 空気沪過装置29は送風機30と沪過器21とチ ヤンパ37より構成されている。微差圧調整器: 3 1 はアルフアペットと矢印で示した案内圧 Pi と窓外圧P。の圧力差を検出して、電気信号に変 獅子るものである。 微差圧調整器 3 1 で検出され た電気信号は電気回路32を通つて制御器33に 送られる。一方制御器33には室内圧力調整器 3.4 があり、これを拡大したものが室内圧力調整 器 3 5 である。室内圧力指示ダイヤル 3 6 を - 5 ~5 ma Ag の目盛の任意の位置に合わせれば、微 差圧計31からの電気信号と、室内圧力指示ダイ ヤル36の指示値とを電気的に比較制御し、電動 級量調整弁28の開度を変化させて排気空気26 の空気量を変えて室内圧力を容易に陽圧及び修圧

特開昭 58-92738(3)

に切り替えることができるものである。

との発明により、従来の無菌病室では室内圧力 が喝圧制御しかできなかつたため、白血病、ガン 息者、呼吸器疾患、熱傷患者等、極度に微生物に 対する免疫力のない患者を対象とした治療しか行 えなかつたが、この発明の設備では同一のクリー ンルーム内を陰圧にすることにより健康人に被害 を与える感染症患者の治療も行えるようになり、 一つの設備が極めて有効に使用できるようになつ

グット お第3図の前記実施例では、室内圧力調整に、 電気式の微差圧調整器31、制御器33、室内圧 力調整器34、電動風量調整弁を用いたが、室内 外の微差圧を作業員が目視で読みとりながら、電 動風量調整弁28のかわりに手動風量調整弁を用 いて調整してもよい。

本発明は、クリーンルームに換気設備を付設し て、室内外の微差圧調整器によつて制御器を経て 俳気調整弁と送風機とを操作して室内圧力を陽圧 または陰圧に切替可能な構成としているから、本

発明によれば、一つの換気設備で、陽圧又は陰圧 の室内圧が得られるため、建築及び設備費の縮少 と、クリーンルームを常に使用されるような有効 利用を行うことができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は陽圧の換気設備の系統図、第2図は陰 圧の換気設備の系統図、第3図はこの発明に係る 陽陰圧切替式換気設備の系統図を示す。

1.…クリーンルーム、 2 … 澄り空気、

3/…吸込口、

4 … 潤気風導、

5… サクションチャンパ、 6 … 新鮮空気、

7 … 新鮮空気取入口、 8 … 風 導、

・9 …風導、 10…送風機、

11…風導、 12…吹出チャンパ、

13…炉過器、 14…陽圧調整弁、

1 5 … 排気空気、 16…清净空気、

17…污染空気、 18…吸込口、

19…風導、 20…チャンパ、

2 1 … 沪過器、

2 3 … 送風機、 24…風 漢、

2 5 … 排気口、 26…排気空気、

2 7 … 新鮮空気風量調整弁、 2 8 … 排気量調整用調整弁、

29 …空気沪過装置、 30…送風機、

31…做差圧調整器、 32…電気回路、

3 3 … 制 倒 器 、 3 4 … 室内圧力調整器、

3 5 … 室内圧力調整器、3 6 … 室内圧力指示ダイヤル。